作品名カメハウス（TRUSST BLOCK lot.07）
設計担当者亀崎義仁（沖縄県建築士会）
勤務先・所属カメアトリエ
施工者（株）尚建

第2回 日本建築士会連合会 建築作品賞
奨励賞
（PDFはこちら）

MESSE (公社)福岡県建築士会 情報誌メッセ 4

案内　6/3　令和５年度　福岡県建築士会　定時総会

６月３日（土）、(公社)福岡県建築士会の令和５年定時総会を下記要領で開催いたします。

今回の総会は、県南ブロック久留米市内での開催となり、また十数年ぶり？の土曜日開催です。

記念事業は、福岡代表の方から６月２４日（土）九州ブロック研究集会「建築士の集い」佐賀大会で行われる地域実践活動発表をしていただく予定ですが、今回基調講演も只今打診中です。

スケジュール等詳細は、来月号メールマガジン「メッセ」５月号でご案内いたしますが、

どうぞお繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

＊５月中旬頃に封書にて「令和５年度定時総会開催」をご案内いたします。

総会スケジュール（予定）

開催日：令和５年６月３日（土）

会　　場：ホテルニュープラザ　久留米市六ツ門町4丁目21番1号

受　　付：１４：００～（予定）

記念事業

総　　会

懇親会　※今年は！懇親会も予定しています。

総務・財務委員長　髙村　龍実

お知らせ　会員作品展２０２３春・夏号

会員作品展２０２３春・夏号に2点のご応募がありました。

詳細は、士会ホームページから会員作品展をご覧ください。

奥八女キャンプフィールド
株式会社環・設計工房

明専寺　御本堂
タツ工房　一級建築士事務所

https://www.f-shikai.org/exhibition/index.html

（会員作品展　２０２３　春・夏号）

報告　3/3九州ブロック第２回会長会議

3月3日宮崎市で第２回九州ブロック会長会議が開かれ、各会長と共に連合会から近角会長と藤本参与（成藤専務理事の後任）が出席されました。初めに、改正省エネ法と改正基準法の全面施行（令和7年度）を目前にし

て、「ZEH」「気候風土適応型住宅」等への対応を進めるようにとの、近角会長の談話がありました。続いて議事にはいり、令和4年度の事業報告と中間収支報告と令和5年度の予算案について検討、了承されました。下記に議事のポイントを記します。

・２年後の士会全国大会in鹿児島に対する助成金をブロックから300万円、各単位会から合計300万円とする

・連合会建築作品賞に九州ブロックから応募した作品をパネルで「建築士の集い」で展示する

・建築士賠償責任保険（ケンバイ）の二つのオプションが新設された

・連合会で「改正省エネ法」と「改正基準法」に関する意見交換会を予定しておりに福岡県から一名出すこと

等々活発な議論が交わされ予定の時間を超過して、懇親会が少し遅くなりました。

翌日宮崎市中心部で「まつり宮崎」という大きなお祭りが開催され、その一環として宮崎県建築士会が、子供さんを対象にして大工さんの仕事を体験するというイベントを実施されていました。アーケードの中にブルーシートを敷き、さまざまな道具や加工する木材を並べて、多くの子供達の前で会員の説明する声が響いていました。

ブロック会議風景

宮崎建築士会イベント風景

説明を聞く子供たち

会長　鮎川透

報 告

3/7　３月定時理事会

３月７日（火）に３月定時理事会が開催されました。概要は以下のとおりです。

○日　時：令和５年３月７日（火）１５：００～１７：００

○場　所：ＡＲＫビル２階大会議室

○出席者：理事１７名、監事３名、顧問２名、相談役１名、事務局１名　　計２４名

○議　題

（１）審議事項

１号議案　入会者の承認について　※退会者の報告

・10月15日から2月28日までに入会申し込みがあった９名について入会承認を求めた。また、同期間中の退会者１８名について併せて報告した

参考）2月28日現在／正会員数　1,943名、準会員196名、非会員 149名

期首正会員数　1,953名、　期中異動　4/1～2/28入会者数53名、退会者数63名 差し引き　-10名）

２号議案　令和５年度 地域活動費について

・12月末の会員数で令和5年度の地域会活動費が確定。予算に関係することから承認を求めた。

３号議案　会員増強について

・令和2年3月23日から始まった会員増強『入会キャンペーン』について、当初は期限を決めて開始したが、継続状態である。一定の効果を上げたことから令和４年度末で終了することに承認を求めた。また、新入会員紹介者に対するインセンティブ（クオカード支給）は会員の協力をお願いすることから引き続き行う。

・4/1～2/28　会員の紹介で入会　17名　〔新入会員紹介者　12名（延べ17名）〕

４号議案　令和５年度 事業計画書について

・事業計画及び収支予算については、定款第３６条に基づき、理事会の承認を求めた。

５号議案　令和５年度 収支予算書と資金調達及び設備投資の見込みについて

・前３号議案と同様に事業計画及び収支予算については、定款第３６条に基づき、理事会の承認を求めた。

６号議案　令和５年度 定時総会について

・総会の日時、場所並びに目的である事項の決定については、定款第３０条に基づき、理事会の承認を求めた。

開催日時：令和５年６月３日（土）１４時～受付予定　＊記念講演検討中

開催会場：ホテルニュープラザ久留米　久留米市六ツ門町16-1　TEL：0942-33-0010

記念事業　15：30～15：45／総会　16：00～17：00／懇親会　17：30～19：00

＊記念講演開催の場合は、時間変更の場合あり

７号議案　報酬及び交通費等を定める細則の見直しについて及び公益目的事業の実施に関する留意事項について

・活性化を図るための事業費については、委員会が主催するイベントや士会関連団体が主催する大会、会議等において参加者に補助を行う場合、その額は参加するための必要と考えられる交通費を補助対象の根拠とし、その金額補助対象額の1/2を上限とする。補助交通費を確定するために、今回「報酬及び交通費等を定める細則」の全面見直しを行い、併せて提案した。「報酬及び交通費等を定める細則」の見直しについては、定款第３０条（２）に基づき『公益目的事業の実施に関する留意事項』については同条（３）に基づき理事会の承認を求めた。

８号議案　事務局職員について

・事務局職員の退職に伴い、新たに職員を採用する必要があり、承認を求めた。

（２）協議事項

１）令和４年度 決算見込みについて

・見込みでは、費用が97%となっている。令和５年度５月理事会での審議事項となる。

２）令和３・４年度会費未納者（会員資格喪失）について　※令和４年度会費未納者（会員権利の停止）

・未納の状況　2/28現在　会費１年未納者 ３５名、２年未納者 １３名

（３）報告事項

１）監事監査（中間監査）の報告

・中間監査日が1月19日と開催が遅かったが、特に指摘箇所はなく、適正に行われている。との報告があった。

２）令和４年度 会費納入状況報告及びについて　・会費入金状況　2/28　現在：97.5%

３）令和４年度 公益目的事業執行状況について　・執行状況　2/28　現在：57.1%

４）講習会等報告

５）会長・業務執行理事の職務の執行の状況報告について

（４）その他

１）令和５年度スケジュールについて

次回理事会開催日時：令和５年５月１０日(水)１５：００～１７：００

会場：八重洲博多ビル（※理事会終了後、懇親会開催予定）

※審議事項はすべて出席理事全員異議なく承認可決されました。

専務理事　碇　好生

報 告　3/11　会員トークセッション

第２回となる「福岡県建築士会トークセッション2023」が３月１１日(土）午後博多区のARKビルで開催された。基調講演として九州産業大学准教授松野尾仁美氏の「福岡県糟屋郡新宮町立花口区における歴史的建造物の活用を目指して」というタイトルで８０分の調査報告がなされた。

2016年から継続している調査研究でこの調査には建築士会のまちづくり委員会へリテージマネージャー部会も協力してきており、松野尾氏も以前から建築士会会員でもあり建築士会活動も「雨水ハウス」の実現など建築士会活動には縁が深いかたである。新宮町立花口集落は中世立花城があった立花山の東山麓に立地する集落で調査報告によれば古い直家（すごや）鉤屋形式の民家が残っており、また集落の通りに平行に特徴のある長屋門形式の街並みが残っている箇所があり、整備次第では集落の魅力をかきたてる期待を抱かせる。

私も新宮町に40年前から住み続けており今回の立花口を対象とした企画には少なからず関心を持って参加した。

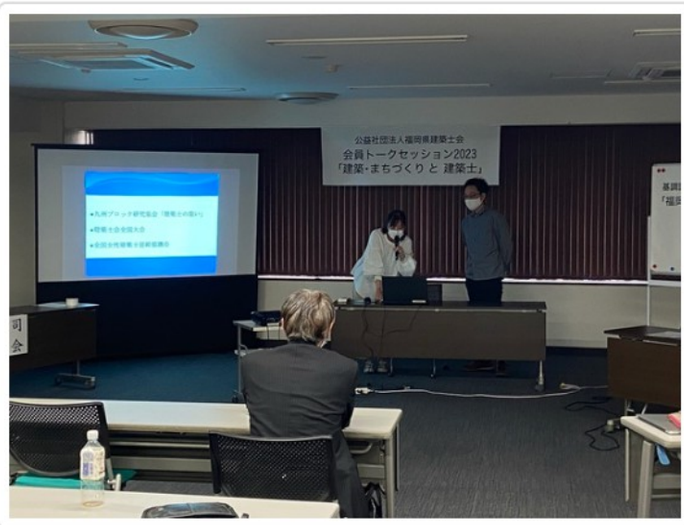
鮎川会長挨拶

松野尾先生

立花口

立花口こみんかみかん

クロストーク



青年・女性委員会活動報告

トークセッションの２週間前２月２６日（日）には「まちづくりコーデイネーター養成セミナーin立花口」として建築士会まちづくり地域貢献部会の山田部会長のお世話で街並み見学会と参加者によるまちづくりワークショップが行われ、このときも松野尾氏に講演いただいている。トークセッションの後半は講演いただいた松野尾氏とまちづくり委員長中島氏、まちづくり地域貢献部会長山田氏と鮎川会長のコーディネートで立花口をめぐってクロストークが展開された。松野尾氏の報告では残存する長屋門の建設が昭和３０年代のみかん栽培が盛んだった頃のことで、それ以前に長屋門の存在が確認されていないとの報告は意外な印象を持ったが、そのことの疑問

は会場からの質問としても提出された。今後の研究の進展が期待される。クロストークでは中島氏の八女市の伝統的建造物保存地区の整備の体験から歴史的まちなみの整備活用の実現には初動期の何年間はイベント企画ばかりで住民、市民が歴史的建造物の価値を再認識することが出発点となるとのコメントは重要と思った。
このクロストークは若い新入会員の建築士会活動のともしびとなるべく企画実行されたと伺っていたが、あいにく若い会員の参加が少ないように見えたのが残念だった、最後に青年女性委員会より建築士会活動の紹介として、九州ブロックの「建築士の集い」、連合会の令和３年「女性建築士連絡協議会福岡大会」、令和４年「建築士会全国大会秋田」の報告紹介があった。
このトークセッションを継続して若い建築士の建築士会への参加、活動を促さない限り未来の建築界の発展は展望できないとの思いを強くする。

顧問　加藤武弘

コ ラ ム

「建築と法律」（８８）

最近受けた相談です。施工業者Ａは，施主Ｘから，建物建築を依頼されましたが，本来必要である杭打工事は予算制約上しなくてよいと言われました。設計監理者ＢはＡに対し，Ｘに説明して設計図書に杭打工事を入れていないので，念のためＡから杭打工事をしない同意書を取得すれば問題ないのではないかと提案しました。しかし，Ａは，将来不同沈下を起せば損害賠償請求を受けるのではないかと不安に思っています。
Ａはどうすべきでしょうか（回答は次号）。

【会員のための無料法律相談のご案内】
４月１２日（水）に福岡市内で無料相談をします。電話での法律相談は随時実施いたします。いずれもご希望の方は電話にてご予約ください。秘密は厳守いたします。電話0985-65-8800（あさひ法律事務所・宮崎市旭1-7-15MRKビル2F）

(公社)福岡県建築士会 福岡地域会 会員・弁護士（宮崎県弁護士会）　矢野間　浩司

報 告

福岡県ヘリテージマネージャー・ヘリテージサポーター 第６期養成講習会を受講して（ヘリテージマネージャー）

私は長年、某宿場町を地域歴史文化遺産として保全活用することに関ってきました。その流れの中で、ヘリテージマネージャーの講習会があることを知り、このプロジェクトを推進するために必要であると考え更なる事業

展開を図るため受講することにしました。講習会では、文化財を扱ううえでの専門的知識や、考え方など、幅広く学ばせて頂きました。私に取って特に有意義であったと思うのは、机上の講習会だけではなく、古民家の実測調査や、一般では入れない文化財建造物、修復中の文化財建造物の見学会において直接関係者から説明を受たり、意見交換した体験でした。

また、最後の成果発表会では、建物だけではなく、橋などの土木建築物にも価値を見出し、古い駅舎や、消防団詰所等々、とても自分では思いつかないようなものを有形文化財の候補として出してきたことに驚かされ、新しい物の見方、考え方を学んだ気がしました。

　最後に、第６期福岡県ヘリテージマネージャー・サポーター講習会参加者のネットワークが出来たことを非常に嬉しく思っており、この講習を受講したことは、私にとってとても身になるもであったと思っています。

　これを機に受講者同士が意見交換をし、互いに協力しあうことが出きるのではないかと期待に胸を膨らませています。

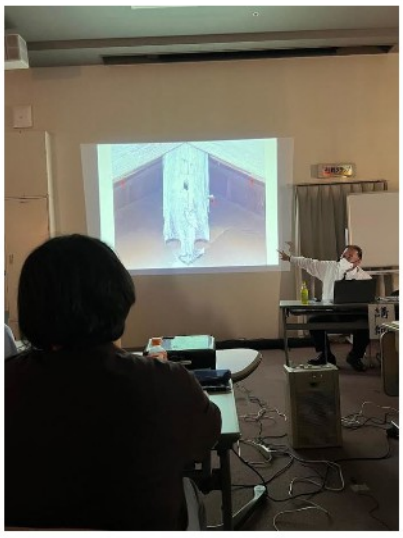
　この場を借りて、講師陣やスタッフの方々にお礼を申し上げます。

旧門司三井倶楽部

八女福島八幡宮

伝統木造建築物の技法

旧福岡県公会堂貴賓館



伝統建築物の工法講座（文建協）

グループ・全体討論

受講者（福岡地域会）　大西一男

報 告

福岡県ヘリテージマネージャー・ヘリテージサポーター 第６期養成講習会を受講して（ヘリテージサポーター）

この度、福岡県ヘリテージマネージャー・ヘリテージサポーター第６期養成講習会を受講させて頂きました。文化財の保存・整備に係る仕事をしておりますので歴史的建造物に触れる機会は多いのですが、普段は史跡を主に扱っており、歴史的建造物について学ぶ機会はなかなかありません。今回から建築士でなくてもヘリテージサポーターという立場で受講ができるようになったとお聞きして、いい機会だと思い受講させて頂きました。
7ケ月、計15回に亘る講義は非常に濃厚なもので、多彩な講師陣による講義や現地見学、実習と多岐にわたるものでした。当初、軽い気持ちで参加したものの、サポーターといえどもマネージャーの方々と同様の課題が課されるため、八女の民家での調査実習の時点でこれはついていけるのか？と焦りを感じましたが、いろいろな方からご指導やご助言を頂きながら、なんとか最後まで受講することができました。

最後の演習である「私が見つけた登録有形文化財」の課題は、対象建物を見つけて調査し、図面を含めたレポートをまとめるものでした。私は八女市にある小さな消防詰所を調査しましたが、中を見せて頂いて調査できる建物を見つける時点から苦労し、これでいこうと決めてからも所有者・管理者を調べるのがまた一苦労、ようやく調査に入れるようになったら今度は雪に降られ、外観写真を撮るのもままならない状況でした。書きなれない図面を書いたり由来等を調べたりと提出間際まで悪戦苦闘しましたが、なんとか提出でき、講義も皆勤できたため、無事に修了証を頂くことができました。

町中に佇む古い建物は、その町の風景を形成し彩りを与えてくれています。由緒正しい歴史や突出した何かがなくても、通りすがりに何かいいよねと思わせる魅力があります。対象建物を見つける時点で、いつの間にかそのような建物がかなり減ってしまっていることを実感しましたが、他の受講生の皆さんが見つけてこられた建物たちもそれぞれに魅力あるものたちでした。このような建物をできるだけ多く、この先も残していけるようにヘリテージマネージャーの方々のお力が重要なのだと思います。
最後に、このような機会を与えて頂けました福岡県建築士会の事務局の方々、スタッフの方々、講師の方々、受講生の方々に厚く御礼申し上げます。今後、また何らかの形で関わることができましたら幸いです。ありがとうございました。

私が見つけた登録有形文化

住吉神社での現場演習

八女福島町並み保存地区での事例見学

八女福島の町並み保存地区にて

受講者　香西真紀子

報 告　3/9　令和５年度「専攻建築士」・「研修プログラム」審査評議会

令和４年度の専攻建築士登録は、24名の更新申請がありました。更新要件別では、CPD60単位取得による申請が8名、認定10年以上の申請が15名、経歴証確認が1名でした。領域数別では更新24名のうち1領域申請20名、2領域申請4名でした。申請方法については、更新申請はすべてWEB申請でした。新規申請はありませんでしたが、3月9日に予定通り審査評議会を開催しました。更新申請はWEB申請であるため、本会での審査を省略し名簿での報告のみを行いました。

今年度は、5年前の更新者数62名に対する更新率38.7％で、15年前の新規登録者数188名に対しては12.7％とかなり落ち込みました。事務局からの働きかけを最小限のメール連絡等に抑えた結果だと思われます。専攻建築士のメリットが出せていないことの現れかとも理解しています。

一方、研修プログラム審査の方は、年間７２件のCPD認定プログラムについて審議され、特に問題はありませんでした。

来季は未更新となってしまった専攻建築士の方のフォローのために、事務局からの情報発信を行っていきたいと思います。また事務局の仕事の効率化も図っていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

CPD・専攻建築士委員長 佐々木郁夫

北 九 州

報 告　北九州地域会　役員会

３月９日（木）に令和４年度第５回の地域会役員会を西村代表の下、戸畑生涯学習センター会議室において、１

１名の出席を得、下記議題にて開催しましたので概要も含め報告いたします。

１．理事会（3/7）報告

・県総会を６月３日（土）久留米にて開催。

・九州ブロックまちづくり委員会R５年度大会を関門地区で開催予定。

２．地域会報告

・地域会決算及びR５年度予算（案）に関して。

・北九州建築六団体賀詞交歓会報告。

３．その他

・R５年度北九州地域会全員集会を６月中旬開催予定。

・学生と建築を語る会を６月１０日（土）に開催。

（この事業を県の「建築士の日」事業として検討中）

等々の内容に関しお手の意見交換を行った。

北九州地域会　池田友三

福 岡

案 内　6/9（金）令和５年度 福岡県建築士会福岡地域会 会員集会

下記により令和５年度会員集会を開催いたします。

詳細は次号5月号にてご案内いたしますが、日程、会場、主な内容が決定いたしましたので、先にご案内申し上げます。

《日　時》令和５年６月９日（金）午後より

《会　場》博多サンヒルズホテル２階『星雲の間』（福岡市博多区吉塚本町13番55号）

◎会員集会

【報告】

（１）令和４年度事業報告

（２）令和４年度収入支出決算報告

（３）令和５年度役員について

（４）令和５年度事業計画について

（５）令和５年度収入支出予算について

・福岡地域建築士の会　令和４年度年度末報告

・福岡地域会賛助会 展示紹介

（※会員集会は、福岡地域会員外の方は参加できません。）

◎記念講演・座談会

テーマ『天神今昔物語　～天神ビッグバンを迎えて～』

（※記念講演・座談会は会員外の方もご参加いただけます。）

登壇者

有馬学：福岡市博物館　館長

武田義明：ギャラリー風代表

モデレーター

鮎川透：福岡県建築士会会長

◎懇親会　博多サンヒルズホテル１階　レストラン「セリア」

皆さまのご出席をよろしくお願いいたします。

福岡地域会代表　上田 眞樹

報 告　2/19(日)空きコミ事業『九州産業大学 卒論発表会＆意見交換会』

２月１９日（日）に空きコミ事業『九州産業大学　卒論発表会＆意見交換会』を実施させて頂きました。

九産大の学生さん二人が二年に渡る空き家対策＆コミュニティ再生事業に参加したことで集計したデータや感想は、とても分かりやすく誰しもが納得する内容でした。

高齢者と学生の間にあるお互いのギャップを埋めることができるのは正に相互理解と地域との連携。シニア層と若年層、お互いの会話や印象の中で感じたことを話し合える話づくりの大切さと難しさを自らの体験談を通して発表した内容は誰しも心打たれるものとなったのではないでしょうか。

九産大学生さんによる発表の様子

アキコミ成果発表の様子

質問会での風景

　また九州産業大学の松野尾先生にもご参加頂き、学生さんたちが今回のプロジェクトに参加したことで得た価値をたくさんお話し頂きました。
社会問題となっている「空き家対策」そして、地域の中での連携をとるためのコミュニティを地域の中で多世代に渡り再生していくために私達、建築士が今何を行うべきなのか。様々なチャレンジをしながら来年度も新しい取り組みをして参ります。
　引き続きメンバーの募集も行っておりますので、ご興味のあられる方は是非福岡県福岡建築士会福岡地域会までご一報ください。

福岡地域会　空きコミ事業 委員長　吉本　高広
（地域会 親睦・会員委員長）

お知らせ　福岡市特定建築物（共同住宅）定期報告電子申請にかかるホームページの更新について

福岡市住宅都市局建築指導部監察指導課 定期報告担当からの情報提供がありましたので、皆さまにお知らせいたします。

会員の皆さまへ

以前、本メールマガジンにてお伝えしました福岡市特定建築物（共同住宅）定期報告の電子申請について、福岡市のホームページを以下のとおり更新しましたのでお知らせします。

１．電子申請による報告書の提出方法、副本・結果通知書について（下記、市ＨＰ「３．電子申請による報告書の提出及び結果通知・副本の送付」参照）
２．電子申請に関するＱ＆Ａの更新（下記、市ＨＰ「４．Ｑ＆Ａ」参照）

市ＨＰ［建築基準法に基づく定期報告（共同住宅）の提出方法、提出先の変更　等］
https://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/kansatsu/life/hukuokasiteikihoukoku_dennsisinnseitou.html

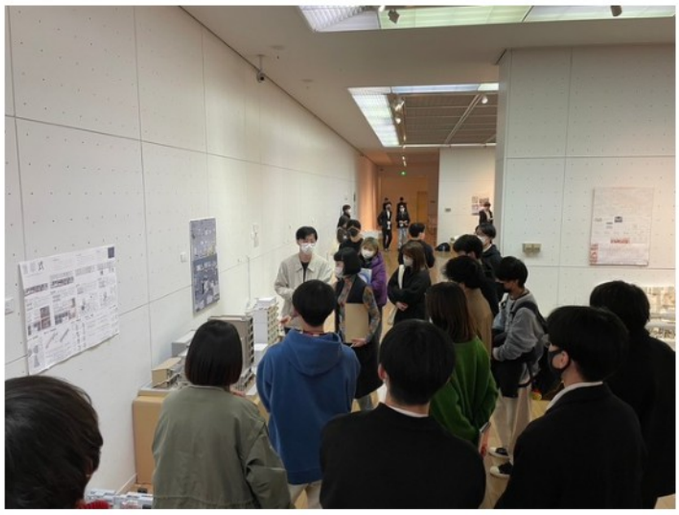
【お問合せ先】
福岡市住宅都市局建築指導部 監察指導課（定期報告担当）
TEL：092-707-3908
FAX：092-733-5584

福岡市住宅都市局建築指導部　監察指導課（定期報告担当）

★詳しい内容につきましては、上記福岡市ホームページをご覧ください。

福岡市住宅都市局建築指導部　監察指導課（定期報告担当）

報 告　士会協賛　tonica　2/21-22関門海峡建築展2023


一次審査の様子

最終審査の様子

北九州建築デザインコミュニティtonicaは北九州市立大学、九州工業大学、西日本工業大学の3大学の建築を学ぶ学生が主体となり、「北九州に建築議論の場を」というスローガンのもと2010年に設立した学生団体です。主な活動として建築展の運営があります。今年から「関門海峡建築展ー北九州新人戦／九州卒業設計展ー」と改称し、北九州・九州の学生に出展を募りました。

建築展当日（2023/02/21~22）は、北九州市立美術館横のアネックス市民ギャラリーに計8大学の34作品が集まりました。今年の建築展は2日間で行い、1日目の一次審査では出展者全員が審査員の先生方にそれぞれ一対一でプレゼンテーションをし、その後公開審査によって最終審査進出者を決定しました。2日目の最終審査では5人の審査員の先生方にプレゼンテーション・議論をした後、公開審査によって受賞者を決定しました。
例年よりも議論する時間が長く、参加学生にとって自身の考えを深める貴重な建築議論の場になったと感じております。
参加学生が九州にとどまらず、関門海峡を越えて全国でも活躍することを願っています。

福岡建築士会様をはじめとするご協賛いただいた企業様、お忙しい中私たち学生と議論をしていただいた審査員の先生方、出展者の学生の皆様、その他多くの関係者のご協力によって無事建築展を開催することができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。今後も北九州建築デザインコミュニティtonica、北九州・九州の建築を学ぶ学生をよろしくお願いいたします。

※受賞作品はtonicaホームページからご覧いただけます。
https://tonicakitakyushu.wixsite.com/mysite

tonica2022運営学生一同

福岡県建築士会写真倶楽部

福岡県建築士会写真倶楽部を立ち上げました。写真好きな方、部員になりませんか。建築物は勿論、季節の花、風景等など自信作を送ってください。応募をお待ちしております。ただし、未発表作に限ります。
不定期となりますが、応募作品を選考後、発表させていただきたいと思いますので宜しくお願いします。
（**被写体の肖像権、著作権には、十分注意をはらっていただきますようお願いします。**）

［応募方法］　メール、携帯からの送信、持込等
［応募規定］　氏名 ／ 題名 ／ 住所又は勤務先 ／ 連絡電話番号
応募数／応募月につき一人１作品
コメント／１００字程度（撮影した写真に対する気持ちや状況など）
［宛　　先］　福岡県建築士会事務局　　shikaifu@crocus.ocn.ne.jp

福岡地域会　堀　謙二

福岡県建築士会写真倶楽部

【題　名】蜜集め

【氏　名】堀　謙二

糸島の福ふくの里で撮影しました。

糸島には産直が3つ（伊都菜彩、福ふくの里、志摩の四季）あり、週末にはドライブがてらよく行ってます。

チョット聞いて

人生･あるある･(9)

･味噌汁のお椀は･

右側？左側？

貴方は、定食などのご飯時、味噌汁などのお椀は、右側に置いたまま食べますか？それとも左側に置き直して食べますか？

食処の店でお昼の定食を頼むと、お盆の上にご飯は左側、味噌汁は右側、惣菜は上の方に置いて運ばれてきますよネ。夕食でも大体そうなっていますが、そのままで食べていますか？

私は、味噌汁のお椀の位置を左側又は左上に置き変えて食べています。～家食でも。勿論、最初の配置が正当で、改まった会食の場では変えたりしませんが。　昼食は急いで食べる時が多く、お椀を持つ時(右利きの場合)、左手親指辺りがご飯茶わんに触る確率が高く右側お椀の汁がこぼれるリスクが多いし、左手の動作が、右側のお椀を持つ度に右側に交差して煩わしいなどからです。

こんな微妙で神経質な事を思うのは私だけかと思って数年前に、昼の定食屋で辺りを観察すると、私と同じような事をする人が少なからずいてホッとしていましたが、過日TVで、この事が取り上げられていて、私と同じような事をしている人がかなりいる事を知りました！

それによると、お椀は右側のままの人は、関東では多数派だが、左側又は左上に置き替える人も少数派ながらかなり居り、関西ではお椀を左側や左上に置き変える人が６割近くいるそうです。さて、貴方はどちら派ですか？

福岡地域会　柘植 成光

貴方の趣味の事や面白い話、経験談や失敗談など何でもお寄せ下さい。

［用 紙 等］

４００字程度。ハガキ、FAX、メール等でご応募ください。

［応募規定］

氏名 ／ 住所又は勤務先 ／ 連絡電話番号

［宛　　先］
福岡県建築士会事務局
E-mail ： shikaifu@crocus.ocn.ne.jp
FAX ： ０９２－４８１－２３５５

お 知 ら せ

事務局だより

（公社）日本建築士会連合会より国土交通省から「良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度」についてWEB動画の配信の通知がありましたのでお知らせいたします。
ご活用ください。

◇配信対象者
主に住宅関連事業者向け

◇主な内容
１．我が国の住宅ストックの現状や住生活基本計画等について
２．住宅取得に係る税制等の支援策について
３．建築物省エネ法や省エネ住宅・建築物に対する支援措置等について
４．長期優良住宅認定制度や住宅瑕疵担保履行制度による良質な住宅ストックの循環システム構築について
５．良質な木造住宅や中大規模木造建築物の支援措置等について
（計140分程度）

◇視聴方法
国土交通省のHPより説明用スライドをダウンロードの上、配信動画を視聴して下さい。

＜ＷＥＢ配信動画・説明用スライドの公開先＞
良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度について
ホームページ：
https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000187.html

事務局

案 内

連合会だより

「日本建築士会連合会 HP」トップページの下段に「連合会からのお知らせ」「新着情報」が掲載されています

のでご覧ください！（2023/3/31 現在）

連合会からのお知らせ

2023/03/16
【お知らせ】第５８回定例理事会において承認となった後援、協賛、共催等名義等について

2023/02/24
【お知らせ】第13回建築甲子園の審査結果の詳細を掲載しました。

2023/02/01
【コンペ】ミライREBORNスマイプロジェクトの実施について

2023/01/30
【お知らせ】民間(七会)連合協定 小規模建築物工事約款、マンション修繕工事約款、リフォーム工事約款の改正について

新着情報

2023/03/20
【国土交通省】「良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度」についてのWEB動画を配信します！

2023/03/20
【国土交通省】住宅省エネ2023キャンペーンの交付申請の受付を３月31日（金）から開始します！

2023/03/16
【和歌山県建築士会】和歌山県、和歌山県木材協同組合連合会と建築物木材利用促進協定を締結しました。

2023/03/08

連合会ＨＰはこちらから

事務局

コ ラ ム

☆青春の日々☆　第１話

今月から、私の建築技術職員としての若い頃の思い出の生活ぶりや、悪戦苦闘の業務の実態などを連載したいと思います。

[熊大工学部の頃の筆者]

・・・・・・・・・・・・・

○就職活動編○

(1)　　・就職先の選択・

熊本大学の4年生になり、講義は全て必須になって卒業設計と卒業論文が加わって俄然忙しくなった。

卒業設計は住居の 団地計画 を選び、敷地の設定をはじめ、必要な資料の収集に、団地に必要な施設、各戸の日照理論や快適性、将来の人口予測による家族構成、生活様式のあり方予測、これらを踏まえた居住計画、各棟の配置計画、等々、課題が多かった。

卒業論文は、屋内の通風換気に関する考察で、厚紙で部屋の模型を作り、窓の大きさや位置を色々変えて、線香を焚き扇風機を回して部屋の中の煙の流れを観察する実験で膨大なデーターをまとめた。煙の流れを安定させるため締め切った実験室に夏休み中通って、蒸し暑く汗だくで、こちらも大変だった。

そんな中、就職活動にも目を向けなければならず、教官室の廊下の壁に貼られた求人一欄表は、例年だと求人は3倍以上4倍位あって希望に沿って選り好みの状態なのに、この所の不景気で2倍に満たない状態だった。それでも大手の建設会社や企業からの求人があり、そこは成績の良い学生から決まっていき、秋頃には殆どのクラスメイトが就職先の内定を貰っていた。

私は、教授から、大阪地場の大手K組と、東京に本社がある大手のS建築材料メーカーを紹介されたが、建設会社は私には合わないと思い行きたくなかったし、待遇条件はいいが建材メーカーも気が進まなかった。

建築学科を出るからには建築設計の仕事をしたいと思っていたし、何処に配属されるか分からない国家公務員でなく、県か市の地方公務員が自分に一番合っているのではないかと考えていた。しかし、熊本での設計会社の求人も県も市も職員募集はしていなかった。東京･大阪では職員募集をしていたが、通るかどうかも分からないのにあんな大都会での生活は気が進まず、母一人を熊本に置いて遠い所に行く訳にもいかないだろうと、自分の学業成績を省みない贅沢な選択をしていた。

しかし、教授の紹介でもあるし、入社試験の旅費等は会社から出るので、東京･大阪と半分見物気分で受験した。Sメーカーは幸いにも？不採用になり、K建設会社はお断りした。(続く)

福岡地域会　柘植 成光

建築関連団体行事予定表はこちら

→ 先月の行事報告

→ 今月以降の行事予定

(公社)福岡県建築士会賛助会員　HPにリンクしております

建築士・宅建のことなら　日建学院天神校
No.1日建学院
ホームページ http://www.ksknet.co.jp/nikken/
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-7 福岡平和ビル5F
TEL:092(762)3170　FAX:092(762)3171

自然素材専門商社 Ikeda CORPORATION
株式会社イケダコーポレーション
〒818-0133 福岡県太宰府市坂本3丁目11-19
TEL 092-922-9963　FAX 092-921-3872

建物モデルから整合性のある図面を作成する
新しい手法を体験してみませんか？
GRAPHISOFT ARCHICAD 11
a Virtual Building Solution
オンラインセミナー好評開催中
http://www.graphisoft.co.jp
グラフィソフト ジャパン株式会社
TEL:03-5545-3800 FAX:03-5545-3804

株式会社ノザワ
やすらぎと安心の創造
●九州支店　http://www.nozawa-kobe.co.jp
〒812-0012 福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号(JPR博多ビル)
TEL 092-(474)0868 FAX 092(437)2626

九州住宅保証株式会社
(九州電力グループ)
建築確認・検査・住宅性能評価
住宅瑕疵担保責任保険・フラット35
http://www.kjhc.co.jp/
本社 092-771-7744 北九州支店 093-511-8110

建築士　宅建　資格取るなら
総合資格学院
天神校／TEL.092-716-2081
http://www.shikaku.co.jp

プロが選ぶ建築の実務情報誌
日経アーキテクチュア
月2回刊 毎月10日・25日発行
購読料金：1年 20,200円

福岡県瓦商工組合

日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

FUKUI COMPUTER
ARCHITREND ZERO
GLOOBE
J-BIM 施工図CAD

Arch-LOG
建築建材総合検索サイト

(公社)福岡県建築士会情報誌 メッセメールマガジン 令和5年4月3日発行 第202号 通巻第418号
発行：(公社)福岡県建築士会 鮎川透　編集：広報委員会 池田友三
事務局：〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18 福岡建設会館6階
TEL 092-441-1867 FAX 092-481-2355
E-mail:shikaifu@crocus.ocn.ne.jp ホームページ https://www.f-shikai.org

今月の編集員
鮎川　透（福岡）、碇　好生（福岡）、池田友三（北九州）、大嶌栄三（福岡）、上村公仁隆（福岡）、
木村一光（八女）、善　敏治（福岡）、堀　謙二（福岡）、末永美穂（事務局）
（　）名は地域会名、五十音順、敬称略

※メールマガジンの写真を無断で転写することを禁じます。